

## 予算決算委員会 会議記録

- 1 期 日 令和4年3月23日（水）  
午後1時00分 開会  
午後1時28分 閉会
- 2 場 所 豊岡市議会議場
- 3 出席委員 委員長 浅田 徹  
副委員長 村岡峰男、田中藤一郎、清水 寛  
委員 芦田竹彦、荒木慎太郎、石田 清  
上田伴子、岡本昭治  
小森弘詞、須山泰一、芹澤正志  
竹中 理、田原宏二、西田 真  
福田嗣久、前田敦司、前野文孝  
松井正志、森垣康平、義本みどり、  
米田達也
- 4 欠席委員 太田智博
- 5 説明員 なし
- 6 傍聴議員 木谷敏勝
- 7 事務局職員 局長 熊毛好弘、次長 安藤洋一、  
主幹兼総務係長 小林昌弘、主幹兼議事係長 佐伯勝巳、  
主幹兼調査係長 小崎新子、運転員 松岡 優
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

予算決算委員長 浅田 徹

# 予 算 決 算 委 員 会 次 第

日 時：2022年3月23日(水)13：00～

場 所：議 場

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 協議事項

### (1) 付託案件の審査について

〔別紙1：議案付託表・分科会分担表、別紙2：審査日程表〕

### (2) 分科会長報告

### (3) 意見・要望のまとめについて

〔別紙3：分科会における意見・要望〕

### (4) 閉会中の継続審査に関する件について

## 4 その他

## 5 閉 会

令和 4 年第 2 回豊岡市議会（定例会）議案付託表

【予算決算委員会】

- 第22号議案 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
- 第32号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計予算
- 第44号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計補正予算（第 1 号）

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【総務分科会】

- 第22号議案 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
  - 第32号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計予算
  - 第44号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計補正予算（第 1 号）
- ※ 第22号議案、第32号議案及び第44号議案中の人件費分は、総務分科会に一括  
分担する。（以下同じ。）

【文教民生分科会】


- 第22号議案 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
- 第32号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計予算
- 第44号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計補正予算（第 1 号）

【建設経済分科会】

- 第22号議案 令和 3 年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
- 第32号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計予算
- 第44号議案 令和 4 年度豊岡市一般会計補正予算（第 1 号）

令和4年3月定例会

予算決算委員会 審査日程表

審査日程	付託(分担)議案	審査内容
<b>全体会①</b> 3月11日(金) 本会議散会後 議場	<b>【予算決算委員会】</b> 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第20号) 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第1号)	<説明> } 省略 <質疑> } ○各議案分科会分担
<b>分科会</b> 3月14日(月) 9:30~ 3月15日(火) 9:30~	<b>【総務分科会】</b> 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第20号) 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第1号) ※ 第22号議案、第32号議案及び第44号議案中の人件費分は、総務分科会に一括分担する。(以下同じ。) <b>【文教民生分科会】</b> 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第20号) 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第1号) <b>【建設経済分科会】</b> 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第20号) 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第1号)	<提案説明> <質疑> <討論> <表決> 《分科会審査意見、要望のまとめ》 ※ 予算決算委員会への付託議案は、3常任委員会の開催中に、分科会に切り替え、分科会に分担された議案を審査する。
		<b>【分科会後～全体会②の間】</b> <全議員> 分科会長報告の要旨を事務局から議員に送付 3/17(木) 17:15までに  <通告をされる議員のみ> 要望・意見の通告期限 3/22(火) 正午までに
<b>全体会②</b> 3月23日(水) 13:00~ 議場	<b>【予算決算委員会】</b> 第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算(第20号) 第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第1号)	<各分科会長報告> ・総務分科会長 ・文教民生分科会長 ・建設経済分科会長 <質疑> <討論> <表決> 《委員会審査意見、要望のまとめ》

予算決算委員会分科会における意見・要望（要旨）

令和4年第2回豊岡市議会（定例会）

議案番号及び件名	第22号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）
【総務分科会】	意見・要望なし
【文教民生分科会】	
【建設経済分科会】	

議案番号及び件名	第32号議案 令和4年度豊岡市一般会計予算
【総務分科会】	
<u>DX推進の予算に関する件</u>	「DX推進の予算」について、情報戦略アドバイザー業務をはじめ、DX推進のために多額の予算が計上されている。組織も新設され、本市のDX元年がスタートすることとなる。新しい視点で意識改革に取り組み、業務の効率化、市民サービスの向上に努められたい。
<u>超過課税の検討に関する件</u>	「超過課税の検討」について、国や他の自治体を見ると、超過課税は期限を設けて賦課されている例が多い。その時点での財政事情などを踏まえて、賦課する額や期間などを検討し決定することが一般的であるので、今後に向けて十分検討されたい。
<u>消防団員の士気に関する件</u>	「消防団員の士気」について、消防団員に対する団員報酬・出動報酬の支払い方法については、消防庁の助言に基づき団員自身に支払うこととなる。このことが、消防団の団結力や団員の士気に影響を与えないよう、十分留意されたい。
【文教民生分科会】	
<u>新文化会館整備事業に関する件</u>	新文化会館整備事業について、実施設計がすすんでいくが、現在の企業物価高騰について大変危惧するところである。しっかりと精査しながらすすめていただきたい。あわせて、公共施設統合の観点からも、市民と文化団体が利用しやすい運営がなされるよう配慮も求める。

**環境政策の推進に関する件**

環境政策の推進について、2050年までに二酸化炭素実質ゼロに向けた取り組みや、「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」による循環型社会の構築および脱炭素社会の実現を目指すために、ごみの減量化や海洋汚染対策などについて、具体的な成果があがるよう取り組まれない。

**老人クラブへの補助金に関する件**

老人クラブへの補助金について、高齢者の生活を健全で豊かにするため、豊岡市は老人クラブ活動補助金を老人クラブ連合会と単位老人クラブに補助している。

その財源として、兵庫県から老人クラブ強化推進事業として補助金を受けていたが、昨年末、唐突にこの補助金の削減の方針が示されたため、市は一般財源で埋め合わせる予算案を提出している。

削減は令和5年度に向けて検討するとされ、新年度への影響は免れた。しかし、今後県から老人クラブへの活動補助が削減されれば老人クラブの活動に支障が出るのが予想される。老人クラブ強化推進事業の補助金が削減されないよう、強く県に求められたい。

**【建設経済分科会】**

意見・要望なし

議案番号及び件名 第44号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第1号）

**【総務分科会】**

**【文教民生分科会】**

**【建設経済分科会】**

意見・要望なし

## 午後1時00分開会

○委員長（浅田 徹） 皆さん、こんにちは。ご多用のところ、ありがとうございます。おそろいようでございますので、委員会を開会をしたいと思います。

非常に重要案件等でございます。非常にこの後も特別委員会等、いろいろと日程組まれておりますので、この委員会のスムーズな進行のご協力をよろしくお願ひしまして、挨拶に代えさせていただきます、よろしくお願ひをいたします。

まず、今日、太田智博委員さんのほうから欠席という届が届いております。よろしくお願ひをしたいというふうに思います。

それでは、本委員会に付託されました議案につきましては、去る3月14日と15日に開催された各分科会において審査が行われました。その内容でございます。

本日は、分科会審査を終えた3件の議案について審査を行っていきたく思います。

これより付託案件の審査に入ります。

審査順序につきましては、確認をさせていただきます。

文書共有システムに配信しております別紙2、審査日程表の最下段の記載のとおり、各分科会長報告、次に分科会長報告に対する質疑、討論、表決を行い、その後、委員会意見・要望の取りまとめを行いたいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定をいたしました。

それでは、審査日程表に基づき、審査を進めます。

まず初めに、第22号議案、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第20号）を議題といたします。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

村岡峰男委員。

○総務分科会長（村岡 峰男） 第22号議案中、総務分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

本案は、年度末における入札残及び事業費の確定

に伴うもののほか、年度末までの支出予定の精査による不用額の減額を主とした補正予算であります。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入予算補正、全項目にわたる人件費を含む歳出予算補正、繰越明許費補正及び地方債補正についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 次に、文教民生分科会長の報告を求めます。

田中藤一郎委員。

○文教民生分科会長（田中藤一郎） 第22号議案中、文教民生分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出補正並びに繰越明許費補正、債務負担行為補正並びに地方債補正についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 続いて、建設経済分科会長の報告を求めます。

清水寛委員。

○建設経済分科会長（清水 寛） 第22号議案中、建設経済分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出予算補正、繰越明許費補正、債務負担行為補正及び地方債補正の関係部分についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） これより分科会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第22号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算を議題といたします。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

村岡峰男委員。

○総務分科会長（村岡 峰男） 第32号議案中、総務分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入予算、全項目にわたる人件費を含む歳出予算、債務負担行為、地方債、一時借入金及び歳出予算の流用についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行う中で、一部委員より反対の立場から、市民税、固定資産税の超過課税については、従来から見直しを求めてきた。あくまでも臨時的な財源だと考えており、年限を切るとか廃止の方向を検討すべきである。とりわけ個人市民税の超過課税については、直ちに廃止を求める。よって、超過課税を含む本案には反対であるとの意見が出されました。

一方、賛成の立場から、超過課税相当額は下水道会計に繰り出しており、仮に廃止した場合、下水道会計への繰出金確保のため、市民の暮らしや命を守るための道路整備や防災対策、産業振興などの社会基盤整備のための財源を圧迫し、これまでと同じ水準の行政サービスの提供は困難になる。よって、超過課税は必要不可欠な財源であり、それを含む本案に賛成であるとの意見が出されました。

このため、採決を行った結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、当分科会は、次のとおり3件の意見及び要望を付すことに決定しました。

1件目は、DX推進の予算についてです。情報戦略アドバイザー業務をはじめ、DX推進のために多額の予算が計上されている。組織も新設され、本市のDX元年がスタートすることとなる。新しい視点で意識改革に取り組み、業務の効率化、市民サービスの向上に努められたい。

2件目は、超過課税の検討について。国やほかの自治体を見ると、超過課税は期限を設けて賦課されている例が多い。その時点での財政事情などを踏まえて、賦課する額や期間などを検討し、決定することが一般的であるので、今後に向けて十分検討されたい。

3件目は、消防団員の士気について。消防団員に対する団員報酬、出勤報酬の支払い方法については、消防庁の助言に基づき、団員自身に支払うこととなる。このことが消防団の団結力や団員の士気に影響を与えないよう十分留意されたい。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 次に、文教民生分科会長の報告を求めます。

田中藤一郎委員。

○文教民生分科会長（田中藤一郎） 第32号議案中、文教民生分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に負担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出及び地方債についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、当分科会は、次のとおり意見及び要望を付すことに決定しました。

第1に、新文化会館整備事業について。実施設計が進んでいくが、現在の企業物価高騰について大変危惧するところである。しっかりと精査しながら進めていただきたい。あわせて、公共施設統合の観点



からも、市民と文化団体が利用しやすい運営がなされるよう配慮を求める。

第2に、環境政策の推進について。2050年までに二酸化炭素実質ゼロに向けた取組や、豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画による循環型社会の構築及び脱炭素社会の実現を目指すために、ごみの減量化や海洋汚染対策などについて、具体的な成果が上がるように取り組まれない。

第3に、老人クラブへの補助金について。高齢者の生活を健全で豊かにするため、豊岡市は老人クラブ活動補助金を老人クラブ連合会と単位老人クラブに補助している。その財源として、兵庫県から老人クラブ強化推進事業として補助金を受けていたが、昨年末、唐突にこの補助金の削減の方針が示されたため、市は一般財源で埋め合わせる予算案を提出している。削減は令和5年度に向けて検討するとされ、新年度への影響は免れた。しかし、今後、県から老人クラブへの活動補助が削減されれば、老人クラブの活動に支障が出るのが予想される。老人クラブ強化推進事業の補助金が削減されないように強く県に求められたい。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 続いて、建設経済分科会長の報告を求めます。

清水寛委員。

○建設経済分科会長（清水 寛） 第32号議案中、建設経済分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出予算、債務負担行為及び地方債の関係部分についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査する中で、一部委員より反対の立場から、但馬空港利用促進事業補助金については、半額近い補助が20年近く続けられており、補助率の見直しも含めた検討を行うべきであると毎回求めてきたが、一向に改められない。よって、但馬空港利用促進事業補助金を含む予算案には反対であるとの意見が出されました。

一方、賛成の立場から、コウノトリ但馬空港は地域にとって重要なインフラであり、滑走路の延長や東京直行便の実現に向け、今後も利用促進を図る必要があると考える。よって、但馬空港利用促進事業補助金は今後も継続するべきであり、予算案には賛成するとの意見が出されました。

このため、採決を行った結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 以上、報告は終わりました。

これより分科会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

須山泰一委員。

○委員（須山 泰一） 32号議案、令和4年度一般会計予算に対して、反対の立場で意見を申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大は丸2年を経過し、第6波では、豊岡でも感染者が大きく増えました。減少傾向にあるものの、新しい変異株も出現し、いまだ出口が見えない状況ではないでしょうか。市民生活は、物価の高騰、年金削減、高齢者医療費の2倍化など、大変厳しい状況にあります。市内事業者の中でも、経済活動の自粛や後継者不足による廃業が後を断ちません。そのような中で迎える令和4年度ですが、会派として毎年表明している反対項目が一向に改善されないということで、2点を申し上げます。

第1は、歳入における市民税の超過負担です。市民にとって厳しい情勢の中で、市民税の超過課税が今年も変わらずに提案されています。2005年、平成17年4月の1市5町合併から17年となります。旧豊岡市だけに都市計画税が課せられているという不公平な課税の解消は当然のことであると思います。しかし、約5億円の歳入を失うということで、新たに市民税と固定資産税の超過課税が創設されました。また、法人市民税は、標準税率から

制限税率へと引き上げられました。固定資産に対し、都市計画税を課している自治体は多く見られますが、市民税に対して超過負担を求めているのは、全国でもまれな状況です。市民税所得割の超過課税を課しているのは、全国で豊岡市のみとなっています。合併から17年たちますが、いつまで続けるのか、全国の自治体と同じ交付税制度の下で、また、同じ税制の下で自治体運営を行っているはずです。超過課税を市民に求めないで、豊岡市より市民サービスが進んでいる自治体は数多くあります。超過課税に見合うような市民サービスが豊岡にあるのか甚だ疑問であり、約5,000万円の個人市民税の超過課税は廃止すべきだと考えます。

第2に、コウノトリ但馬空港への補助金についてです。利用促進事業費約7,800万円、そのうち、利用促進協議会への補助金が6,000万円計上されています。料金の半額ほどの補助率が28年続いています。多くの市民は利用しておらず、補助金があるから利用するというにはなっていません。一方で、市内への来訪者や観光客は、当然のこととして正規の料金を払って利用されています。私たちは、毎年、補助率の削減を求めています、30年近くたっても全く見直しもありません。改めて補助率の引下げを求めます。

以上、この2年間のコロナ禍で疲弊している市民の暮らしとなりわいを応援する立場で、新年度予算へ不同意とし、反対討論とします。よろしく願いいたします。

○委員長（浅田 徹） ほかにありませんか。

小森弘詞委員。

○委員（小森 弘詞） ただいま議題となっております第32号議案、令和4年度豊岡市一般会計予算について、賛成の立場で討論をいたします。

超過課税は、合併以来、旧豊岡市のみで課税されていた都市計画税を廃止し、社会基盤整備の財源として、市民から公正かつ広く薄く負担していただく観点から、市民税と固定資産税に適用されております。

令和4年度予算においては、個人市民税、法人市

民税及び固定資産税の超過課税分として4億9,900万円が見込まれております。超過課税相当額については、下水道会計に繰り出しており、仮に超過課税を廃止した場合、非常に厳しい市の財政状況からすれば、下水道会計への繰出金確保のため、市民の暮らしや命を守るための道路整備や防災対策、産業振興などの社会基盤整備のための財源を圧迫し、これまでの水準の行政サービスの提供が困難になることは明白です。したがって、超過課税は、引き続き市民の安全・安心な暮らしを守るため、必要不可欠な財源と思料いたします。

以上、賛成の討論といたします。

○委員長（浅田 徹） ほかにありませんか。

石田清委員。

○委員（石田 清） 但馬空港利用促進補助金及び但馬空港利用促進補助金を含む予算案に賛成の立場から討論を申し上げます。

但馬空港は、地域の優位性を保つための大切な空港であります。加えて、公共交通機関としても価値を高めてまいりました。現在、滑走路端の安全区域の確保をはじめ、首都圏直行便就航を可能にする滑走路の延伸や、就航率改善につながる機能強化などが議論されております。また、新型コロナウイルスの感染拡大によって多大な影響を受けている利用者数の回復はもちろん、需要のさらなる拡大のため、東京直行便の実現に向け、引き続き利用促進に取り組む必要があります。豊岡市が将来にわたり魅力あふれる地域であるためには、交流人口の拡大による地域活性化が不可欠であります、コウノトリ但馬空港はその基盤インフラであり、空の玄関口として今後ともその重要性はますます高まっていくものと考えております。このような中、県と但馬地域の自治体は連携しながら利用促進を図っておりますが、空港需要の拡大を支え、促す但馬空港利用促進補助金は従来どおり継続すべきであります。

よって、今回の予算案には賛成いたします。以上です。

○委員長（浅田 徹） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

賛成、反対の意見がありますので、起立により採決をいたします。

本案は、原案のとおり可決すべきことに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（浅田 徹） 起立多数により、第32号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第44号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

村岡峰男委員。

○総務分科会長（村岡 峰男） 第44号議案中、総務分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

本案は、地方創生臨時交付金を活用した事業の経費及び保育士、幼稚園教諭等の処遇改善をするための経費を増額する補正予算であります。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入予算補正、人件費を含む歳出予算補正についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 次に、文教民生分科会長の報告を求めます。

田中藤一郎委員。

○文教民生分科会長（田中藤一郎） 第44号議案中、文教民生分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出補正についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 続いて、建設経済分科会長

の報告を求めます。

清水寛委員。

○建設経済分科会長（清水 寛） 第44号議案中、建設経済分科会に分担されました事項について、審査の結果をご報告いたします。

当分科会に分担されました事項は、所管事項に係る歳入歳出予算補正の関係部分についてであります。

当局に対し、各項目にわたり詳細な説明を求め、慎重に審査を行った結果、格別異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、ご報告いたします。

○委員長（浅田 徹） 以上、報告は終わりました。

これより、分科会長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第44号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で当委員会に審査を付託されました案件の審査は終了いたしました。

次に、委員会意見・要望として、委員長報告に付すべき内容についてご協議をお願いしたいと思います。

第32号議案に係る意見及び要望について、文書共有システムに配信しております別紙3の予算決算委員会分科会における意見・要望のとおり、総務分科会及び文教民生分科会からの提案がございました。

32号議案に係る意見・要望についてを議題といたします。

総務分科会及び文教民生分科会からの提案のと

おり、当委員会の意見及び要望として付すことにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

このほか、委員の皆さんからご意見及びご要望のご提案はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ないようですので、委員長報告につきましては、正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に、4の閉会中の継続審査の申出についてお諮りいたします。議長に対して、委員会重点調査事項を閉会中の継続審査事項として申し出たいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

続いて、その他ですが、委員の皆さんから何か発言ございましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ないようですので、以上をもちまして予算決算委員会を閉会いたします。大変ご苦労さまでした。ありがとうございました。

午後 1 時 2 8 分閉会

---